

北海道も夏本番を迎えました。そんな中、7/20に札幌の狸小路3丁目に『モユク サッポロ』という複合商業施設がオープンしたので行ってきました。

屋上には『スカイガーデン』という名の屋外テラスがあり、テレビ塔やすすきの観覧車などの街並みを見渡し、リフレッシュすることが出来ました。

一番人気は4〜6階の都市型水族館『AOAO SAPPORO』です。ちなみに料金は時期によって変動し、今回は大人¥2,200と少々高めでした。こちらは昼と夜で雰囲気が変わり、私は夜に行きましたので、照明がトーンダウンしたパルのような雰囲気になっていました。

都市型水族館は小さな生物が中心ですので、一般的な水族館とは様相が異なります。クラゲやヘコアユといった珍しい種類の魚が新鮮でした。

一番のおすすめは6階のイワトビペンギンの大水槽で、ペンギンを間近で見ることが出来ます。泳いだり、寝ていたりする姿は私でも思わず可愛いと思いました。

同じフロアのブルールームには巨大スクリーンがあり、一定時間ごとに波を打つ海や、海底で泳ぐさまざまな魚たちの様子を見ることが出来ます。時間を忘れて楽しめましたのでこちらもおすすめいたします。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

都内には町中華の名店がずらりとありますが、今回は餃子の名店『餃子の王さま』をご紹介します。創業は昭和29年と今年で69年、浅草は仲見世通りから少し外れたところに、その名店はあります。黄色の店舗ですので目立ちます。

また、たいてい行列が出来ているので、それもまた目印となります。餃子の王さまと隣の建物の間から見える東京スカイツリーも、実は隠れ写真スポットらしく、それも観光客の人たちの行動と会話で理解しました。とりえず、1枚撮っておきました。それからしばらくすると、お一人様カウンター席に案内され、暑い日でしたのでサッポロ赤星の瓶でまずは喉を鳴らしました。と同時に個人的に黄金の組み合わせの王さまの餃子とチャーハンで大満足でした。浅草へお寄りの際は、餃子の王さまなどの町中華もおすすめの一つです。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



私は自然が大好きなので、あちこちで小さな動物が走っている姿を目撃したことがあります。しかし、そんな動物と同じ場所に座り、一緒に食事を楽しんだことはどれくらいあるでしょうか。

最近、バリ島のリゾートで数日間過ごす機会がありました。とてもリラックスできる場所で、市内からも車で30分以内に行くことが出来ます。

閑散期とのことでしたが、意外にも海外からの観光客を中心とした宿泊客が多く、朝食を取るカフェのカウンターには午前8時30分から10時が『最も混雑する時間帯』と表示されていました。実際その通りでほとんどの席は埋まっており、短いながら行列ができていました。

そんな中、屋外の席に行くと小さなボウルと食べ物が置かれ、『リスの朝食』と表示されている小さなテーブルを見つけました。リスがそのテーブルに直接餌を食べにくる姿は見る事が出来ませんでしたが、代わりに、数匹のリスが木に吊るされたボウルから餌を食べている姿を見つけました。私の席は木のすぐ横だったので、リスの食事風景を眺めながら朝食を取ることが出来ました。

世界を構築しながら自然と調和し、仲良くなっていくといいですね。



KIO(シンガポール)(E.Wong)

厳しい残暑が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は名古屋の少し変わった旅館を紹介いたします。

その旅館は名古屋市中村区、名古屋駅近くに3か所ある『SAMURAI HOUSE』という戸建ての旅館です。

この旅館は2017年にオープンし、名前の通り、侍(武将)をコンセプトにしている点が最大の特徴です。3か所あるサムライハウスはそれぞれ織田信長、豊臣秀吉、徳川家康という愛知県にゆかりのある三英傑をテーマにしています。

それぞれの造りは異なりますが、モダンなインテリア、甲冑のディスプレイ、着物をモチーフにした寝具、書道家による掛け軸など、日本ならではの趣を取り入れるこだわりと同時に、家族やグループでゆっくりとくつろぐことが出来るようになっています。子供が飽きないようにゲーム、本、DVDなどが置いてあったり、長期滞在用に調理器具なども揃えられていたりしています。

コンセプトからもわかるように外国人に人気があるようです。サムライの雰囲気を感じられる戸建て旅館へ行かれてみてはいかがでしょうか？

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

毎日暑い日が続きますね。ここまで暑いと出掛ける場所も選びたくなります。そこで今回は『六甲山』へのドライブ。本当の目的は『六甲高山植物園』。7月中旬はあじさいが見頃でそれを目指して走りました。

心地良いワインディングが続く、登って行くと、市街地では33℃あった車外温度計が24℃まで下がりました。窓を開けて走っても気持ち良いくらい。ハイカーや登山者も多く、避暑にはもってこい。

普通あじさいは6月に見頃のイメージですが、六甲山は気候がかなり涼しいので、7月中旬から下旬までが見頃。ちょっと出足が遅かったので植物園付近の駐車場は全て満車でちょっとショックでした。

ですが道路脇を見ると野生のあじさいが結構咲いていて、スカイブルーの色がとてもキレイ。この青は『六甲ブルー』と呼ばれています。六甲山は花崗岩で土壌が酸性になっているため湿度が高く、昼夜の気温差も激しいので青がキレイに出るとの事。

あじさいは神戸市の市花ともなっています。花が見られて良かったですが、次こそは植物園にも訪れてみたいと思います。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

7月に入り、雨の多い季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。いきなりの豪雨に見舞われることも多くなり、台風も少しずつ発生もしている今日この頃です。今回はその「豪雨に見舞われる前の準備…」を少し書きたいと思います。

まずは『ハザードマップの確認』です。自宅とその周辺がどの程度浸水するのか、また河川から遠くても、排水が追い付かず浸水してしまうこともあるため、内水ハザードマップも確認しましょう。

次に、自宅周辺の側溝や排水溝の掃除、出入口からの浸水を少しでも防ぐために、土のう、水のうを用意しましょう。

避難指示が出たら、あらかじめ確認をしておいた近隣の避難先に迷わず避難。避難時の服装としては、長袖、長ズボン、マスク、手袋を付け、履きなれたスニーカーを履き、傘は閉じて杖代わりに使用するといいようです。

また防災グッズなども「もしも…」のために、持ち歩き用、避難用、在宅避難用と準備をしておくといいそうです。実際、現場に直面した際にはパニックになるかもしれませんが、あらかじめ準備しておくとうれやうにも繋がるでしょう。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシアでは8月17日は、独立記念日で休日です。国民は独立のお祝いをする目的で、それぞれの地域で色々な行事をします。行事の内容は通常、様々なゲームです。子供、お父さん、お母さん、若者などが参加します。

私が住んでいる団地内には400軒以上の家があり、若者、子供たちが多い団地です。去年は子供の参加人数が約150人でしたが、今年は何と200人以上も参加しました。子供たちのゲームは自転車に飾りつけをしたり、絵に色をつけたり、インドネシア伝統武術であるシラットを舞踏として踊ったりします。

若者、お父さんたちはフットサル、卓球、バドミントンなどがあります。私は卓球とバドミントンに参加しました。シングルスはさすがに力量が足りないのでダブルスでプレーしました。

卓球、バドミントンともに一回戦は勝ちました。2回戦も同じ日に行うため、言い訳ではありませんが体の疲れがまだ残っており、頑張りましたが僅差で負けてしまいました。近所の人たちと笑いながら楽しくゲームができて何よりでした。

その後、週末の19時からステージが設けられました。ゲーム優勝者の発表や、若者がバンドで歌を歌ったり、マジックやダンスが行われたりして、夜中の12時まで楽しく過ごしました。年一回の行事で本当にとっても楽しかったです。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～秋ではなくて夏が旬～

土瓶蒸しに天ぷら、炊き込みご飯など、松茸は秋の味覚の王様ですが、日本ではなかなか手軽に食べられる機会がありません。中国はというと、日本よりかなり手ごろな価格で食べることができるんです。

シーズンになると蘇州の居酒屋でも土瓶蒸しや焼き松茸などがメニューに登場し、中国にいながらにして秋の風物詩が味わえます。また、駐在員の一時帰国の際にお土産として買う人も少なくありません。しかし近年では国内でも人気が高まり、価格もじわじわと上がってきています。

日本の松茸消費量は世界最大で、輸入品では中国からが最も多く、雲南省や吉林省、四川省などから多く輸入されています。カナダやトルコ、

モロッコからも輸入されているそうです。

秋になると日本のスーパーには1万円を超える値札が付いたパックが並び、なかなか手が出ませんが、中国では秋ではなく夏に旬を迎えます。中華料理では鍋の具材として、或いはアワビや鶏肉などと合わせたスープが人気です。

高くなったとは言え、日本の4分の1ほどの値段で食べられますので、かなりお値打ちです。雲南省のおいしい松茸は8月が狙い目です。この夏も蘇州にいながらにして味わえる秋の味覚、ささやかな贅沢を楽しみたいと思います。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

地球温暖化の影響なのでしょうか?日本からは台風接近による大雨情報やら、記録的な猛暑などのニュースを耳にします。熱中症には警戒を怠らぬ様にしてください。

アメリカも西部を中心に猛烈な暑さが続いています。幸いなことに、カリフォルニア州ではそこまで暑くないですが、それでも直射日光はかなり強烈で、夜でも冷房が欠かせなくなっています。

猛暑と言えばお隣にあるネバダ州やアリゾナ州では信じられない様な暑さが続いています。ラスベガスやフェニックスでも連日45℃以上の猛暑日が続いていて、数日前から各地で熱波警報が出ています。

そんな暑さが続く中でやけどを負って緊急搬送される患者が急増している様です。やけど???と思う方もいるかもしれませんが、あまりの暑さで地面(アスファルトやコンクリート)の温度が上昇し、80℃を超える事もあります。さすがに80℃を超えたらちょっと触っただけでもやけどをする可能性が高く、一番多いケースは歩いている最中に転び、地面に接触してやけどを負ってしまうパターンだそうです。車のボンネット上で目玉焼きやハンバーガーを作るなど楽しんでいる人たちの映像をニュースで見ましたが、事態はもっと深刻で、ほんの数秒ほどで熱傷を負う場合もあり、最悪の場合は皮膚移植が必要になることもあるそうです。

この環境は人間だけでなく動物(特にペット)でも大きな問題になってきています。可愛いペットも熱いコンクリートやアスファルトを歩けば危険な状態になります。多くの人は夜間などに芝の上だけを歩かせて散歩をしているとのこと。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

2022年、オランダでは前年より11%増加した約6,000台の車が盗難に遭ったと報告されています。中でもトヨタの車両が多く盗難されました。ここ数年、フォルクスワーゲンのゴルフが最も盗難被害に遭っていたため、これは注目に値します。

現在、多くの車には、いわゆる『スマートキーシステム』が装備されています。これは従来のキーの煩わしさがなくなり、ドアハンドルに触れるとすぐに車のロックが解除、またキーをポケットに入れたままでも施錠・開錠のできる非常に便利なシステムです。しかし、その便利さを逆手にとって窃盗犯にも利用されてしまうという難点もあります。

窃盗犯はメーカーと種類に基づいた車ごとの盗み方を正確に把握しており、依頼に応じて盗みを働きます。キーから車への信号を受信する特別なアンテナを用いてロックを解除します。そして数分以内に車を持ち去ります。

トヨタのオーリス、C-HR、RAV4は、現在窃盗グループで非常に人気があります。しかし、貴重な部品を求めて盗まれることの多いオーリスは、再び発見されることがよくあります。レンジローバーやブジョー、ルノー、シトロエンなどのフランスのブランド車もよく窃盗ターゲットにされています。フランス車は東ヨーロッパやアフリカに消えていくことが多いです。

車のキー(スベアキーを含む)を密閉缶に保管すると、信号を受信できなくなり、スマートキーシステムによる車の盗難を防ぐことができます。

その他にセキュリティを追加することも可能です。キーのバッテリーに小さな調整が行われ、5分間動きが記録されないと、スリープモードになり、信号を送信しなくなります。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)